

溶剤系 2液型ポリウレタン樹脂塗料

ボウジンテックス

#5000U 高耐候性仕様



JQA-2631(本社工場)
JQA-EM3548(本社工場)

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M03134
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

ボウジンテックス #5000Uは、硬化剤を「高耐候性硬化剤」に変えることで、さらに**耐候性の良い塗膜**を形成することができます。

特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 2液タイプでありながら速乾性を有し、冬期の低温硬化にも対応
- 2 耐油性、耐薬品性に優れ、過酷な使用に耐える
- 3 耐候性、耐久性に優れ、屋内屋外にも塗装が可能
- 4 抗菌仕様も可能

用途

- 1 強靭な塗膜を必要とする一般工場、倉庫
- 2 耐油性、耐薬品性が要求される機械、印刷工場
- 3 屋内パーキングおよび耐候性が必要な屋外パーキング
- 4 食品工場などの抗菌効果が必要な床

※大量の水および熱水がかかる床面には不適です。



一般工場・倉庫



電気室・ボイラー室



機械工場



自動車修理工場



屋内パーキング



屋外パーキング



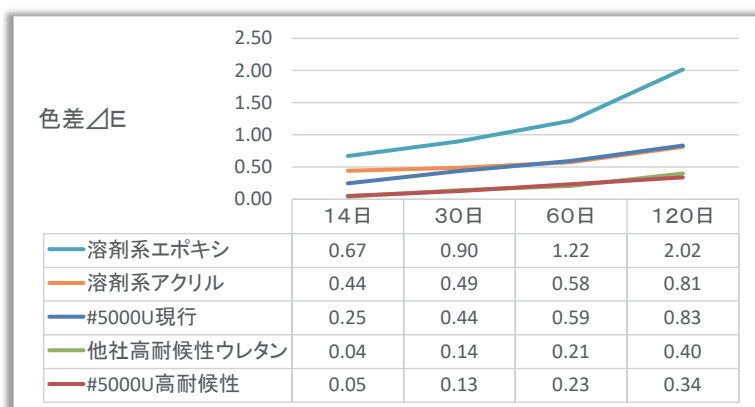
化学薬品工場・印刷工場



食品工場

色差ΔE

■ 本社屋外曝露試験結果 (最大 120 日)



ボウジンテックス #5000U 高耐候性仕様は、本社屋外曝露試験 120 日で**色差ΔE0.5 以下**で耐候性に優れていることが証明されています。

塗装仕様

■モルタル・コンクリート面 平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg	0~10% #5000Uシンナー	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	4h以上 24h以内	—
上塗り	ボウジンテックス #5000U 主剤15kg 高耐候性硬化剤2kg	10~20% #5000Uシンナー	ハケ ローラー	2	0.14~0.17	50~61	6h以内	1h以上	—	8h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※上塗り1回目に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上げが可能です。(添加量:300g/セット)

※下塗りの吸い込みが激しい場合は2回塗りをしてください。

荷姿

上塗り材

ボウジンテックス #5000U…………… 17kgセット(主剤15kg 高耐候性硬化剤2kg)
4kgセット(主剤3.5kg 高耐候性硬化剤0.5kg)

下塗り材

ボウジンテックス 強化シーラー…………… 16kg・4kg

希釈剤

ボウジンテックス #5000Uシンナー…………… 16L・4L(強化シーラー兼用)

副資材

歩行用防滑骨材…………… 300g

注意事項

仕様全般

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 防滑仕上げは標準3回塗りです。
- 軽歩行用防滑仕上げを行う場合は、歩行用防滑骨材をご使用ください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
- ボウジンテックス 強化シーラーを炎天下で塗装すると、層間剥離を起こす可能性がありますので施工を避けてください。
- 水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。(専用シンナーをご使用ください。)
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早めに使い切ってください。
- 化学物質過敏症の人は塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

※No6オレンジや、黄色を使用した指定色は、直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。
また、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。
(詳細につきましては弊社営業担当者へお問い合わせください。)



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌
カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2203